

ㇿ 広報 ひがしよしの

2026
(令和8年)
1月号

Vol.633

迎春

P2～3 新年のごあいさつ

P6～7 午年生まれ大集合

P22 「税についての作文」 村長表彰受賞

P28 薪の買い上げについて

裏表紙 園児・児童・生徒絵画作品展



新年のごあいさつ

東吉野村

村長 水本 実



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は村政に対しまして多大なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、大阪・関西万博が4月に開幕し、予約が取れないほどの大盛況となりました。本村におきましては、河瀬館「いのちのあかし」の建築材に村産材を活用し、木材の振興・PRを行いました。

また、円安等の進行に伴う物価高騰も収束の兆しを見せず、村民の皆様の暮らしにも大きな影響を及ぼしております。引き

続き、村民の皆様や事業者の方への数々の支援策も積極的に取り入れ、村民の皆様の命と生活を守ることを最優先に取り組んで参ります。新型コロナウイルスが5類に移行してから2年が経過し、生活様式やイベントなども、様々なことが型を変えながらも通常に開催される様になり、さらに村民や移住者、クリエイターが「いこか！ふるさとひよし祭り（まちゆり）」や「はじまりの東吉野オープンアトリエ」を開催されるなど、地域から活動が起こっています。そして、産学官民連携施策で採用されたO h！オオカミ音頭が新しく作られ、多くのイベントの中でみなさまに楽しく踊っていただくことが出来ました。ただ、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスの感染者数は依然多く、油断できない存在となっておりますので、本年も引き続き希望者に対する予防接種費用の補助を行っております。令和6年元日の

能登半島地震や同年宮崎県沖の日向灘での地震、昨年12月には北海道・三陸沖での地震など近年各地で起きています。引き続き、南海トラフ地震等の自然災害に備え、住民への避難訓練や意識啓発を積極的に行い、村づくりの基本理念の一つ「安全安心で住みやすく、多様多彩な人々がお互いを尊重しながら、心豊かに暮らせる村づくり」の実現に更に取り組んでまいります。

5期20年に亘り村民の皆様の温かいご支援とご協力のもと、行財政改革を進め、財政状況も回復、財政健全化への道筋をつけることができました。

しかし一方では、人口減少と少子高齢化が激しい勢いで進んでおり、高齢化率は人口の6割近くとなり、子どもの出生数は、年間3人程度にとどまっております。

このような情勢の中、村の将来を見据え取り組んでおりますクリエイティブヴィレッジ構想

の深化と加速、小さな道の駅、また村営住宅・若者定住促進住宅の整備、サテライトオフィスの整備、あるいは小川のまちの再生といった施策を積極的に推進し、光ファイバーを整備することによって都会から田舎の好きな若いクリエイターの移住をすすめてまいりました結果、平成26年度から約11年が経過し、のべ79世帯157名の方が移住してくださり、そのうち子どもが38人となっております。我々が子育てをした時のような子どもの数にすることを目標とし、これまで取り組みを進めて参りました。

国内においては、昨年10月21日に高市内閣が発足致しました。大胆な「危機管理投資」と「成長投資」で、「安全・安心」の確保と「強い経済」を実現させるとしています。

本村といたしましても国の動向を見据えつつ、知恵と工夫を出し合い、地域の特性を活かし

た活力有る村づくりに向け取り組みでいかなければなりません。私は今期をもって退任をさせていただきますが、後任の方には、これまでの政策の継承と、一方では、斬新な政策でもって東吉野創生に繋げていただける事を願っています。本場に永きに亘りご支援をいただきました村民の皆様衷心より感謝とお礼を申し上げ、残すところ4ヶ月半の任期を精一杯尽力して参りますので温かいご支援ご協力と、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様にとりまして輝き良き年となりますこと、そして、ご健勝とご繁栄を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

東吉野村議会

議長 丸井 雅弘



新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より、村議会に對しまして深いご理解とご協力を賜っておりまことに心から感謝申し上げます。

本年も議員一同、村民の福祉の向上と村の発展のため、より一層尽力いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、終戦八十年の節目で平和への誓いが新たになったほか、猛暑と豪雨などの災害に見舞われました。また、大阪・関西万博が開催され明るい兆しが見える一方で、国際情勢の不安定さが続く等々、多岐にわたる出来事があった一年と言えるでしょう。

また、経済情勢を振り返りますと、政府は「経済あつての財政」を基本とし、「責任ある積極財政」の考え方の下、戦略的に財政出動を行うことで「強い経済」を構築する。今の国民の暮らしを守る物価高対策を早急に講じるとともに、日本経済の強さを取り戻すため、生活の安全保障・物価高への対応、危機管理投資・

成長投資による強い経済の実現、防衛力と外交力の強化を柱とする「強い経済」を実現する総合経済対策（日本と日本人の底力で不安を希望に変える）を取りまとめたところであります。

こうした中、物価高対策に遅れをとらず、経済情勢を考慮しつつ、インバウンド対策や賃上げの普及・定着への対応、地域医療提供体制の確保、防災・減災対策、子ども・子育て政策の強化等、国の動向を注視し徹底した効果的・効率的な事業を検討していく必要があります。

本村におきましては、令和八年度も、財政健全化に留意しつつ、本村のめざす、普遍的な村づくりの基本理念である「夢と希望の持てる村づくり」「安全安心に暮らせる村づくり」「環境にやさしい村づくり」と、「第二期東吉野村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の四つの基本目標である「生活を支える雇用を創出する」「都市と地方のつながりを築き、移住・交流を促進し、新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「人が集う魅力的な地

域をつくり、互いに支えあう暮らしやすい村をつくる」に沿った魅力のある村づくりを図るため、引き続き地方創生関連補助金など国の政策を有効に活用できるよう、より良い事業やサービスに転換、充当しなければなりません。

これからも、村民の皆様が安全に安心して潤いのある豊かな生活が営めるよう個性豊かで魅力ある地域をめざし、林業をはじめ地域の特性を活かした産業振興、村内での雇用の場の創出、教育、福祉、医療、防災といった諸課題の解決に向け、皆様のご理解とご協力を得ながら、議員一同一丸となって精励してまいります。

今後とも村当局と互いに協力し合い、村政発展に向け、全力を傾注いたす所存でございます。どうか東吉野村議会に對しまして、皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、今年一年が皆様にとって幸多き年でありまことを心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

第5回

定例会

令和7年第5回東吉野村議会定例会が、12月5日から10日までの6日間の会期で開かれました。

この議会では、東吉野村議会議員及び東吉野村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正のほか、一般会計補正予算などが審議され、いずれも原案どおり可決されました。

そのあらましをお知らせします。

◆東吉野村議会議員及び東吉野村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

公職選挙法施行令の一部改正があり、選挙運動に関し公営に要する経費にかかる限度額が引き上げられた

ことに伴い、所要の改正を行うものです。

◆一般会計予算を補正

令和7年度東吉野村一般会計補正予算(第3号)は、468万4千円の補正です。

主なものは次のとおりです。

- ・庁舎施設等に係る修繕経費 305万3千円
- ・人事給与システムプログラム改造委託料 41万8千円
- ・学校給食事業費特別会計繰出金 135万1千円
- ・自治体情報システム標準化に伴う帳票印刷経費 21万7千円

- ・戸籍システムプログラム改造委託料 210万1千円

- ・国勢調査調査員等報酬

18万9千円

- ・ふるさと村・やはた温泉・たかすみ温泉指定管理料

251万1千円

- ・国民健康保険事業費特別会計繰出金

364万8千円

- ・療養給付費負担金

168万1千円

- ・介護保険特別会計繰出金

68万8千円

- ・心身障害者医療費助成

114万7千円

- ・国民年金システムプログラム改造委託料

92万4千円

・南和広域医療企業団負担金

28万7千円

・ツキノワグマ捕獲用餌及び檻購入
経費

47万3千円

・舗装改良工事

1600万円

・災害防除工事

550万円

・社会教育施設整備事業補助金

45万5千円

・補助金超過交付による国、県支出

金返納金

148万5千円

・人事異動等に伴う人件費

△3744万4千円

この補正で一般会計の予算総額は、28億521万4千円となりました。

◆学校給食事業費特別会計予算を補

正

令和7年度東吉野村学校給食事業

費特別会計補正予算(第1号)は物価

高騰等によって影響を受ける子育て世代の負担軽減を図るため、令和7年5月から令和8年3月までの給食費の減免をおこなうにあたり、財源調整をするものです。

◆国民健康保険事業費特別会計予算を補正

令和7年度東吉野村国民健康保険

事業費特別会計補正予算(第3号)は

3991万4千円の補正です。

主なものは次のとおりです。

・連合会負担金

2万2千円

・一般被保険者療養給付費

3234万8千円

・一般被保険者高額療養費

580万8千円

・財政安定化支援事業分納付金

△19万6千円

・保険者支援制度分納付金

184万2千円

・補助金超過交付による県補助金返納金

9万円

この補正で同特別会計の予算総額は、2億5916万7千円となりました。

◆介護保険特別会計予算を補正

令和7年度東吉野村介護保険特別

会計補正予算(第2号)は、141万

2千円の補正です。

・介護保険システムプログラム改造

委託料

137万5千円

・介護保険財政調整基金利子積立

3万7千円

この補正で同特別会計の予算総額は、5億5772万円となりました。

今年、令和8年は「午年」です。

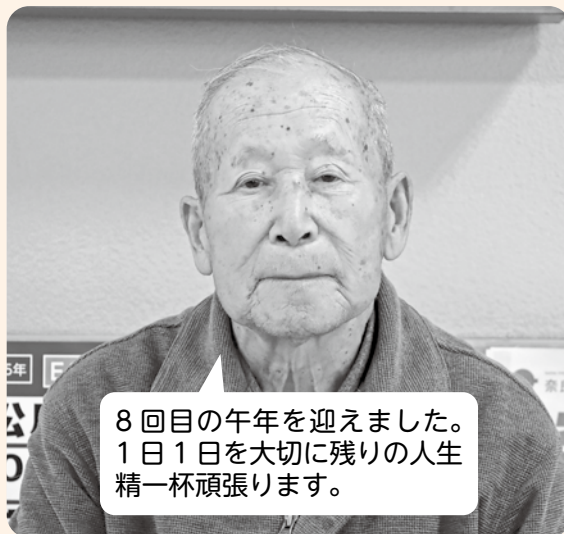
村内の午年生まれの方の中から新年を迎えての抱負をうかがいました。

(敬称略)



渡邊 麻理子 (小)

今年は欽ちゃんの仮装大賞に出たいです。



松本 喜八郎 (大豆生)

8回目の午年を迎えました。
1日1日を大切に残りの人生
精一杯頑張ります。



足が速くなりたい！

まんがを全巻
そろえる！！

ドッジボールのキャッチが
ウマくなりたい！

福井 環

小嶋 源

植田 きこ



どんなことでもまじめに
真剣にする！

何でもチャレンジ
する！

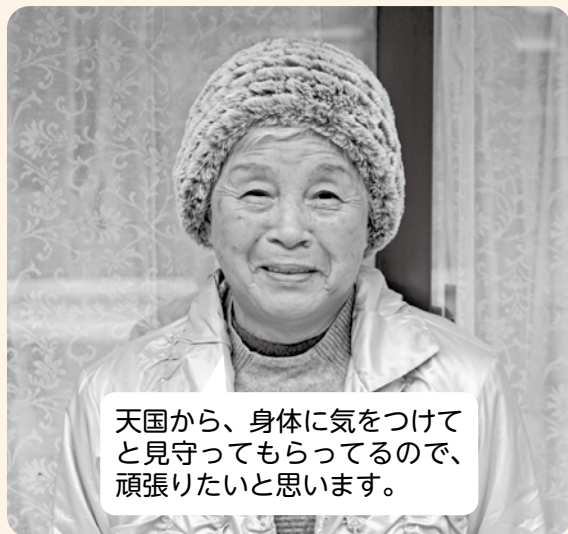
毎日楽しく過ごす。

内村 櫻架

中峰 桜

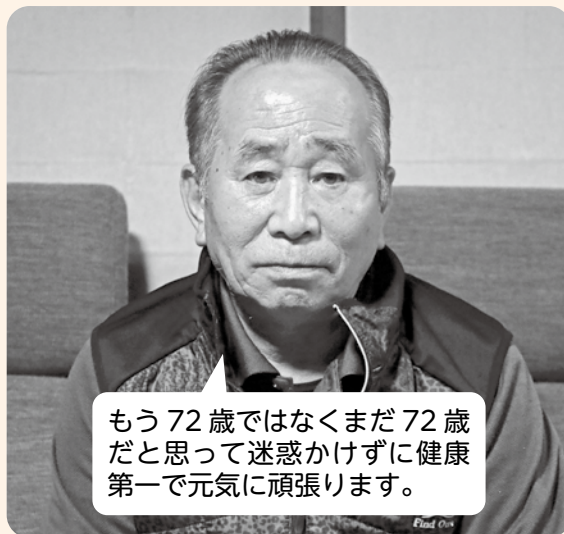
立道 杏奈

2026年午年生まれ大集合



桶井 啓子 (小川)

天国から、身体に気をつけてと見守ってもらってるので、頑張りたいと思います。



西 雅彦 (伊豆尾)

もう72歳ではなくまだ72歳だと思って迷惑かけずに健康第一で元気に頑張ります。



富永 和美 (小)

家族全員健康で過ごしたいと思います。



宮本 翔大 (鷺家)

資格をたくさんとります。



金光 藍 (平野)

体と心を大切に、これからも歩いていきたいと思います！

第21回東小フェスティバル

11月22日、村民民ホールにて第21回東小フェスティバルが開催されました。

はじめに児童代表で6年生の内村櫻架さんが挨拶をし、その後3・6年生のパフォーマンスとして二部合奏、3・4年、1・2年、5・6年生の順に学習発表会と、最後に全校合唱が行われました。

3・4年生は、「Back to the 1955」と題して、子どもたちがおじいちゃんの子どもの時代にタイムスリップして、昔と現代の暮らしの違いをユーモアあふれる楽しい劇にして披露しました。

1・2年生は、「ひよっこにんじやの村たんけん〜まきものをあつめるんジャー〜」と題して、村内のお店や仕事場を見学して学んだことを忍者に扮して大きな声とキレイの演技で発表しました。

5・6年生は「Dえもん 時をかける歴史アドベンチャー」と題して、Dえもんのび太が時代を超えて旅するストーリーリで、難しい歴史を完成度の高い演技と小道具、創意工夫で、笑いを交えながらわかりやすく伝えていました。

児童たちが仲間と相談して作り、日々練習を重ねた発表会は無事に終えることができました。



3・4年生
Back to the 1955



5・6年生
Dえもん
時をかける歴史アドベンチャー

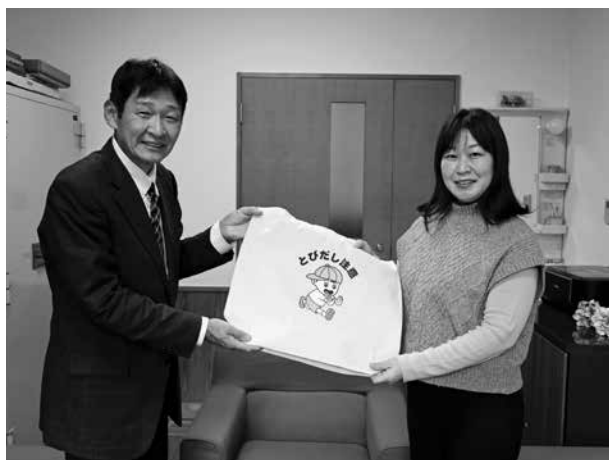


1・2年生
ひよっこにんじやの村たんけん
〜まきものをあつめるんジャー〜

東吉野小学校に交通安全啓発物品を寄贈

12月16日、村交通安全母の会会長より東吉野小学校校長へ交通安全啓発物品が寄贈されました。この啓発物品は、児童はもちろん、そのご家族においても、交通安全ルールを守り安全・安心な日常が続くよう、今一度、交通安全を考えるきっかけとなることを願って手渡され、後日、全校児童一人一人に物品の配布と共に交通安全の啓発が行われました。

この記事を読まれる年始は、先月15日から1月5日まで年末年始の交通事故防止運動の期間でもありますので今一度、道路を利用する一人一人が交通ルールを確認し、安全で快適に道路を利用出来るよう、みんなで交通事故の無い一年を目指しましょう。



山の学校 炭焼き体験エコツアー開催

12月13日、ふるさと村と八幡炭窯で、山の学校協議会主催の炭焼き体験エコツアーが開催され、村外から20人の方が参加されました。

このツアーは炭焼きを通じて自然の大切さや、エコについて学んでいただくとうと山の学校協議会で行っており、例年多くの方が参加されています。

午前中はふるさと村で炭ができる過程の説明を受け、昼食後、八幡炭窯へ移動し、薪を割って窯に詰める作業を体験されました。その後、あらかじめ焼いておいた炭を取り出し、小さく切って袋に詰めて持ち帰っていただきました。



作業の様子



ツアー参加者の皆さん

人権の花運動の実施

11月20日、人権啓発運動の一環として、人権擁護委員による人権の花運動が実施されました。

人権擁護委員の榎本氏と平松氏からパンジーが配布され、東吉野小学校5・6年生がプランターに植える作業を行いました。子ども達は、好きな色を選び楽しく会話をしながら植えていました。

榎本氏は、人権の花運動を通じて、いのちの大切さ、協力し合うことの大切さ、お互いを尊重し合うことの大切さを学び、より豊かな心をもって成長してほしいとお話されました。



人権啓発パトロールを実施

12月10日、人権週間（12月4日から10日）に伴い、人権擁護委員による人権啓発パトロールが実施されました。

村内のこども園や小・中学校、郵便局や商工会などの施設に、啓発物品としてポケットティッシュ、卓上カレンダーなどを配布し、人権の尊重を呼びかけました。

また、同日の午後からは中央公民館にて人権特設相談所が設けられ、人権相談が行われました。



商工会にて



小川郵便局にて

クッブ

12月7日、中黒運動公園ゲートボール場にて村体育協会主催のクッブ大会が開催されました。

本競技は、今回が奈良県で行われた初めての大会となります。参加者は25名で、村体育協会 津川会長の挨拶の後、それぞれチームに分かれてプレーが始まりました。

クッブとは、木製の丸棒を下手投げし、相手のコートの角材を倒していく、スウェーデン生まれの対戦競技です。

参加者の皆さんは、初めて行う方も多くルールを確認しながら、敵味方関係なく褒めたり、悔しがったりとプレーを楽しんでいました。

また、角材に当たる度にチーム内でハイタッチを行うルールもあり、チーム内の親睦が深まりました。



プレーの様子



村体育協会津川会長挨拶

3B体操

12月13日、村住民ホールにて、村体育協会主催の3B体操が開催されました。参加者15名で、村体育協会 津川会長の挨拶の後、3B体操指導者 川口晴美先生の指導のもと行われました。

3B体操は、ボール（Ball）、ベル（Bell）、ベルト（Belt）という3種類の補助用具を使いながら音楽に合わせて体を動かす体操で、補助用具の頭文字がすべてBであるため、3つのBを使う体操として「3B体操」と名付けられました。

今回は川口先生がお手本となり、動きを確認した後実際に音楽に合わせて、ベルとベルトを使って楽しみながら体操を行いました。

終始にこやかに進められ、特に最後に行われた「あんたがたどこさ」と肥後手まり唄を歌いながらのミニゲームでは大笑いが起きるほど盛り上がりしました。



ベルトを使った体操



協力してゲームを楽しみました

赤い羽根共同募金

12月11日、東吉野中学校で15,616円、12日に東吉野小学校で2,145円それぞれ集まった赤い羽根共同募金を「福祉活動に役立ててください」と、奈良県共同募金会東吉野村支会河野会長に手渡されました。

中学校では、合同運動会で会場内に呼びかけて募金活動を行いました。保護者や地域の方々の温かいご協力、ありがとうございました。



募金を手渡す明後生徒会長



募金を手渡す小学生

健康のひろば

1月の保健事業

お問い合わせは
住民福祉課へ

☎42-0441

悩みごと相談所

臨床心理士が、様々な悩みにカウンセリングを行います。相談された内容は秘密厳守されますので、仕事や病氣、子育ての悩み、お子さんの発達相談など、どんなことでもお気軽にご相談ください。

とき

1月17日(土)

午前10時～午後4時

(正午から午後1時までを除く)

ところ 役場1階会議室

申込み

ご希望の方は、1月15日(木)までに住民福祉課へご連絡ください。
【相談者1人につき1時間、1日5名まで】

子育てサロン(びびよサークル)

とき

1月21日(水) 午前10時～11時

ところ 役場3階会議室

対象

就学前の子どもと保護者、妊婦

内容

体重測定・育児相談・保護者同士の交流

持ち物 飲みもの

申込み

参加ご希望の方は、1月19日(月)までに住民福祉課へご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症予防接種費用助成のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の予防接種を希望される方には、接種費用の助成を行っております。接種期間は医療機関によって異なりますので、事前に医療機関にご確認の上、予防接種をお受けください。

対象

東吉野村に住民票があり、予防接種当日、次のいずれかに該当する方

① 65歳以上の方

② 60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に身体障害者手帳1級程度の障害を有する方

助成対象接種期間

令和7年10月1日(水)～

2月28日(土)

費用

自己負担3,000円

(生活保護受給の方は全額助成)

方法

1) 村内医療機関、南和広域医療企業団(五條病院、南奈良総合医療センター)の場合

当日医療機関で3,000円を支払い、予防接種を受けてください。

※南和広域医療企業団は電話予約は受け付けていません。来院でご予約ください。

2) 上記以外の医療機関の場合

(償還払い)

① 接種前に住民福祉課へお申し込みください(2月27日(金)まで)。

② 接種当日、役場が発行した必要書類を持参し、予防接種を受けてください。

③ かかった費用を一旦、全額医療機関にお支払いください。

④ 予防接種の領収書と予防票の写しを添えて、申請書を住民福祉課へご提出ください。

⑤ 接種費用から自己負担金を除いた金額を助成します。

助成金申請書 3月31日(火)

季節性インフルエンザ予防接種費用助成(高齢者等・子ども)について

助成金の申請締切は、2月27日(金)までです。郵送にて申請される方は2月28日(土)必着でご送付ください。なお助成対象者は、令和7年12月31日(水)までに接種された方となります。新型コロナウイルス感染症の予防接種とは助成期間が異なりますのでご注意ください。ご不明な点等があれば住民福祉課までご連絡ください。

感染性胃腸炎(ノロウイルス感染症)に注意しましょう

冬場に流行する感染性胃腸炎の主な原因はノロウイルスです。ノロウイルスは汚染された食品や患者の便、おう吐物から人の手等を介して感染し、おう吐や下痢、腹痛や微熱などの症状を引き起こします。たいていは1～2日で軽快しますが、感染力が強く、特に子どもや高齢者では重篤化することがあるため注意が必要です。

ノロウイルス感染を予防するためには、石鹸と流水での手洗いをしっかりとすること(アルコール消毒は効果なし)、食品(特に2枚貝)を調理する場合、中心部が85℃90℃で90秒以上加熱されるよう、しっかりと火を通しましょう。また、患者の

便やおう吐物には大量のウイルスが含まれているため、家庭内でノロウイルスが発生した場合、便やおう吐物の処理を行う際はマスクや手袋をはめて処理を行い、汚物はビニール袋に密閉して廃棄する等、家族内で感染が広がらないよう注意しましょう。消毒を行う際には家庭用の塩素系漂白剤(キッチンハイター等)が効果的です。

もしノロウイルスを発症した場合、脱水にならぬよう、水分をしっかりと摂るよう心がけ、水分を摂取できないほど症状が強い場合には、病院を受診するようにしましょう。

高血圧予防ワンポイントアドバイス

年末年始でアルコールを摂る機会が増えている方もいるのではないですか? アルコールは百薬の長と言われてきましたが、最近の研究ではアルコールに適量はなく、飲酒によって病気のリスクが高まることからわかってきました。血圧については、アルコールによる血管を狭くする作用や心臓の拍動を早める作用により、長期間の飲酒や過度の飲酒で高血圧や不整脈を発症すると言われています。飲酒をするときには1日1合までとし、ゆっくりと時間をかけて飲みましょう。また、週に1～2日は休肝日を設けるようにしましょう。飲酒時のつまみも塩分が高いものが多いため、つまみの選び方にも注意が必要です。さらに、すでに降圧剤等の循環器疾患の薬を飲んでいる方は、飲酒時に血圧が下がりすぎたり肝臓に負担がかかるため、なるべく飲酒は控えるよう心がけましょう。

参考文献…厚生労働省 e-ヘルスネット